

12/22

おらっちゃんが選んだ 熊無の地区文化財ガイドマップ お披露目

熊無自治会は、熊無地区の魅力を広く知ってもらうための「熊無地区指定文化財くまなしガイドマップ」を作成し、その完成を市長に報告しました。

同自治会は、昨春から地区内の樹木や考古資料、絵画などを地区独自の指定文化財として選定する活動を行っており、現在までに40件を選定しています。そして今回、市のおらっちゃん創生支援事業費補助金を活用して、地区指定文化財の写真を掲載したカラー刷りのマップ（A3判4つ折り）を作成しました。丸山自治会長ら3人は、選定やマップ作りを通して「地元の自然や史跡は、価値ある大切な宝物だと再発見することができた」と語りました。

このマップは、「お休み処くまなし」をはじめ市内の観光施設や市役所に置かれています。また、3月には文化財の写真展、4月にはマップを活用したウォーキングイベントが実施される予定です。



1/14

大雪後、市内の小・中・義務教育学校が再開 雪道を集団下校

冬型の気圧配置の影響から、県内で記録的な大雪となった1月。市内全ての小・中・義務教育学校は、児童生徒の安全を最優先に、8日から13日までを臨時休校としました。その間、安全な通学路を確保するため、主に幹線歩道の除雪作業が急ピッチで行われました。

市内全ての学校が再開した14日には、複数の小学校で集団下校が実施されました。比美乃江小学校では、大きな荷物を持った児童らが、班に分かれて1列に並び、列に付き添う教員らの「車や屋根雪に注意して歩こう」の呼びかけに応じて、安全に下校しました。

ようやく3学期を迎えることができた児童らは、友だちとの再会に明るい笑顔いっぱいでした。



1/16

氷見高校弓道部 稽古始め

例年1月に行われる武道稽古始めは、今年は大雪の影響で中止となりましたが、ふれあいスポーツセンター武道場では、氷見高校弓道部の皆さんが、年明けから稽古に励む姿が見られました。

静かに整った呼吸で、的を捉える眼差し、矢を放っての射の一連の所作には、心技体で技を磨く武道の精神が満ちていました。

主将の屋敷力生さんは「今年は、新型コロナの影響で、インターハイとその予選大会が中止となり、先輩たちは大変悔しい思いをした。今年は、特に団体でインターハイに出場できるよう頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

